TOSHIBA
Leading Innovation >>>

3 映像と音楽を楽しもう
CD/DVDの使いかた

dynabook

もくじ

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。
本書は次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

記号	意味
⚠警 告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注 意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
＊＊＊＊のみ	一部のモデルにのみ該当する操作を示します。 「＊＊＊＊」には、「用語について」で定義されたシリーズ名、モデル名が入ります。
▼＊＊＊＊のみ ▲＊＊＊＊のみ	一部のモデルにのみ該当する記述の範囲を示します。 「＊＊＊＊」には、「用語について」で定義されたシリーズ名、モデル名が入ります。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	このマニュアルやほかのマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合…「　」 ほかのマニュアルへの参照の場合…『　』 パソコンで見るマニュアルなどへの参照の場合…《　》 《パソコンで見るマニュアル（検索）：XXXX》と書いている場合、《パソコンで見るマニュアル》の［キーワード検索］に「XXXX」を入力すると、目的のページを検索できます。 パソコンで見るマニュアルにはさまざまな情報が記載されています。

＊1　重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
＊3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

2 用語について

本書では、次のように定義します。

Windows Vista

Windows Vista® Home Premium または Windows Vista® Home Basic を示します。

パソコンで見るマニュアル

パソコン上で見ることのできる、電子マニュアル「パソコンで見るマニュアル」を示します。
デスクトップ上の［おたすけナビ］アイコンをダブルクリック→［パソコンで見るマニュアル］タブの［パソコンで見るマニュアルTOP］ボタンをクリックして起動します。

ドライブ

DVDスーパーマルチドライブを示します。

参照 詳細について『いろいろな機能を使おう 1章 4 CDやDVDを使う』

HDMI 端子モデル

HDMI 出力端子が内蔵されているモデルを示します。

Premiumモデル

Windows Vista® Home Premium が搭載されているモデルを示します。

Basicモデル

Windows Vista® Home Basic が搭載されているモデルを示します。

TXシリーズ

dynabookシリーズで、モデル名が「TX」で始まるモデルを示します。

TXWシリーズ

dynabook Satelliteシリーズで、モデル名が「TXW」で始まるモデルを示します。

AXシリーズ

dynabookシリーズで、モデル名が「AX」で始まるモデルを示します。

EXシリーズ

dynabookシリーズで、モデル名が「EX」で始まるモデルを示します。

EXWシリーズ

dynabook Satelliteシリーズで、モデル名が「EXW」で始まるモデルを示します。

PXシリーズ

dynabookシリーズで、モデル名が「PX」で始まるモデルを示します。

PXWシリーズ

dynabook Satelliteシリーズで、モデル名が「PXW」で始まるモデルを示します。

CXシリーズ

dynabookシリーズで、モデル名が「CX」で始まるモデルを示します。

CXWシリーズ

dynabookシリーズで、モデル名が「CXW」で始まるモデルを示します。

NXシリーズ
dynabookシリーズで、モデル名が「NX」で始まるモデルを示します。

ご購入のモデルの仕様については、別紙の『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

3 記載について

- 記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊シリーズのみ」などのように注記します。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは内蔵ハードディスクや付属のCD／DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書に記載している画面やイラストは、一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。

4 Trademarks

- Microsoft、Windows、Windows Media、Windows Vista、Aeroは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- CyberLink、SoftDMAは、CyberLink Corp.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Corel、Corelのロゴ、Ulead、Uleadロゴ、DVD MovieWriterは、Corel Corporationおよびその関連会社の商標または登録商標です。
- メモリースティックはソニー株式会社の商標です。
- xD-ピクチャーカード™は、富士写真フイルム株式会社の商標です。
- i.LINKは商標です。
- HDMIおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC. の登録商標または商標です。
- おたすけナビは、株式会社東芝の商標です。

本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

5 バックアップについて

ハードディスクや記録メディアに保存しているデータは、万一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて、定期的にバックアップをとって保存してください。
ハードディスクや記録メディアに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いません。
バックアップについて、詳しくは『準備しよう 4章 大切なデータを失わないために』を参照してください。

6 著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

7 リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。
必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

①［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［はじめに］→［リリース情報］をクリックする

8 ワイド画面における画面の引き伸ばしについて

1. 本製品は、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご注意の上、画面モードをお選びください。
2. 本製品を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面モード切り換え機能等を利用して、画面の引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。

9 お願い

- 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- 内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本書に記載している各お問い合わせ先は、2009年2月現在の情報です。各社の事情で受付時間などが変更になることがあります。

10 ［ユーザー アカウント制御］画面について

操作の途中で［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、そのメッセージを注意して読み、開始した操作の内容を確認してから、［続行］または［許可］ボタンをクリックしてください。
パスワードの入力を求められた場合は、管理者アカウントのパスワードで認証を行ってください。

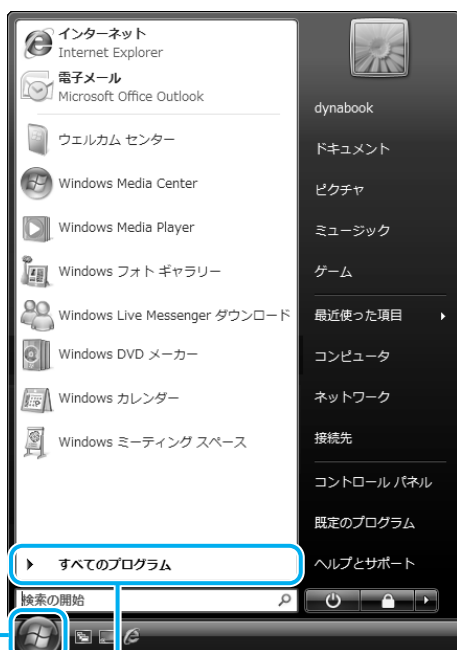
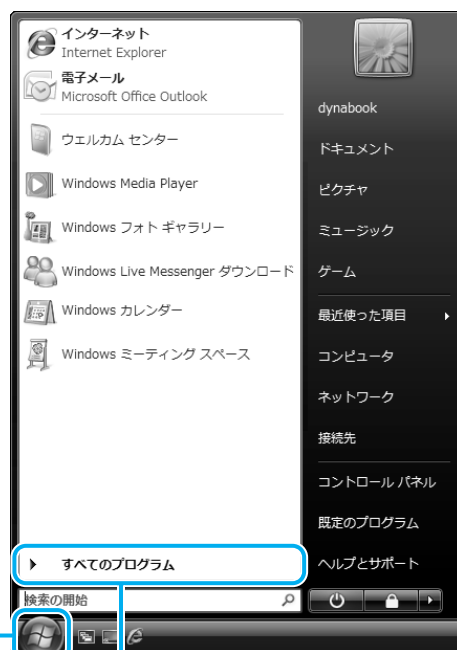
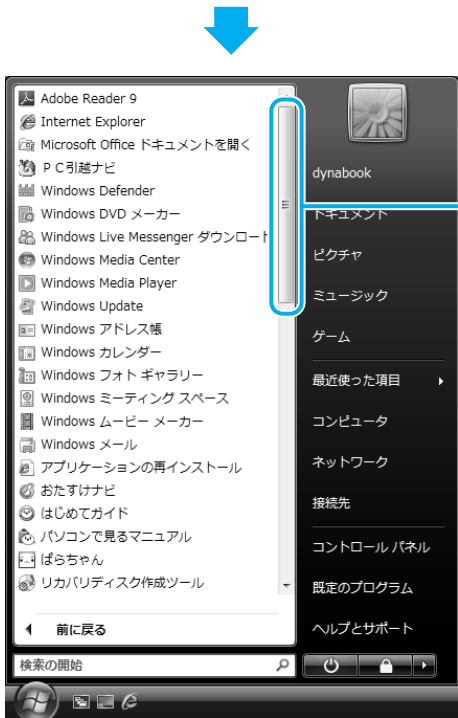
11 アプリケーションの起動について

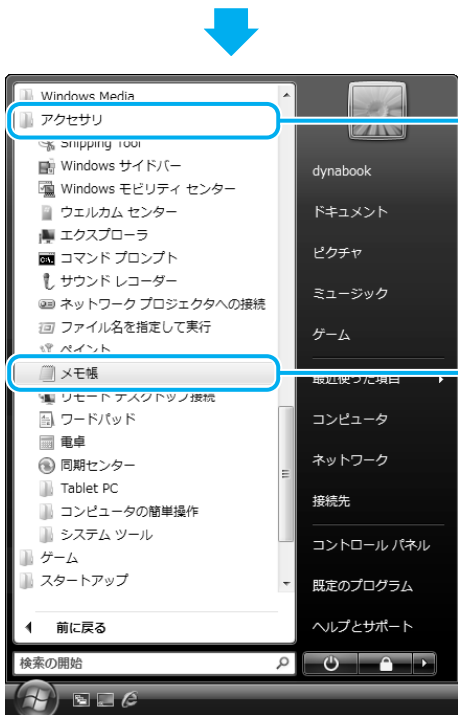
本書では、アプリケーションの起動手順の記載を簡略化して次のように記載しています。

❏「メモ帳」を起動する場合の例

1 [スタート]ボタン( )→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[メモ帳]をクリックする

この手順は、次のような操作を表しています。参考にして操作してください。

■Premiumモデルの場合

■Basicモデルの場合

[スタート]メニューの左側の部分が[すべてのプログラム]の一覧に切り替わります。

③スクロールバーをドラッグし、起動する アプリケーションを探す

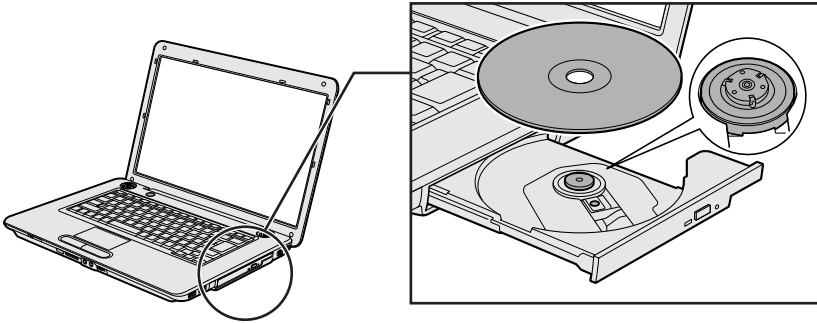
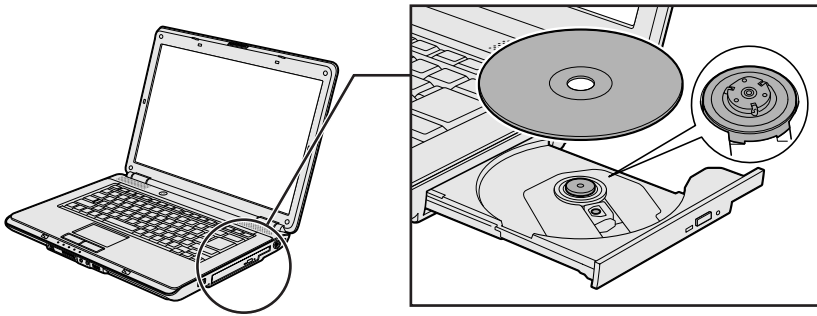
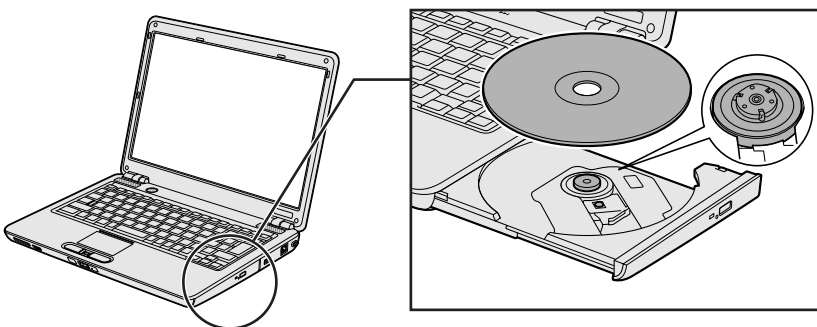
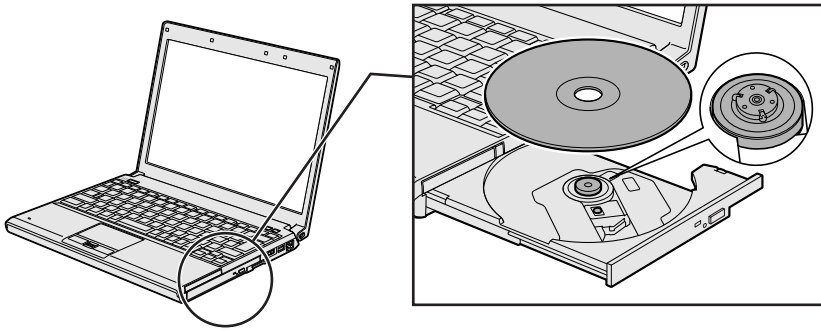
スクロールバーをドラッグすると、［すべてのプログラム］の一覧がスクロールされます。目的のアプリケーションを探してください。左側のアイコンがフォルダ（ ）の場合は、クリックするとフォルダ内の一覧が開きます。

④［アクセサリ］をクリック

⑤［メモ帳］をクリック

「メモ帳」が起動します。

12 CD／DVDのセットについて

シリーズやモデルによって、ドライブの位置が異なります。
各シリーズのドライブやディスクをセットする位置は、次のイラストを参考に確認してください。

■TXシリーズ、TXWシリーズ、AXシリーズの場合

■EXシリーズ、EXWシリーズ、PXシリーズ、PXWシリーズの場合

■CXシリーズ、CXWシリーズの場合

■NXシリーズの場合

ドライブについて、詳しくは『いろいろな機能を使おう 1章 4 CDやDVDを使う』を確認してください。

役立つ操作集

「東芝サービスステーション」

「東芝サービスステーション」は、ソフトウェアのアップデートや重要なお知らせを自動的に提供するソフトウェアです。

「東芝サービスステーション」を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。

参照 「東芝サービスステーション」について『準備しよう 1章 3 Windowsを使えるようにする』

1 DVDの映画や映像を見る

本製品では、DVDの再生ができます。
Windows上でDVDを再生するには、「TOSHIBA DVD PLAYER（トウシバ ディーブイディー プレーヤ）」を使います。

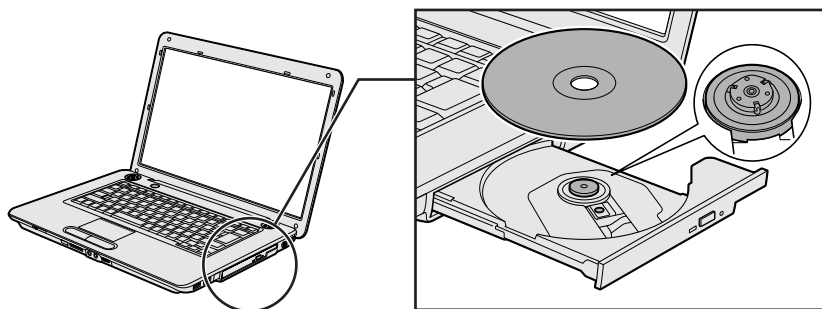
メモ

- DVDを再生する場合、「TOSHIBA DVD PLAYER」を使用してください。
  「Windows Media Player」やその他の市販ソフトを使用してDVDを再生すると、表示が乱れたり、再生できないことがあります。

1 TOSHIBA DVD PLAYERで見る

ここでは、「TOSHIBA DVD PLAYER」でDVDの映像を見る方法を説明します。
「TOSHIBA DVD PLAYER」を使う前に、「9-1 DVDの再生にあたって」をよくお読みください。

1 Windowsが起動している状態で、ドライブにDVDをセットする

＊イラストはTXシリーズです。

2 ［DVDムービーの再生 -TOSHIBA DVD PLAYER使用］をクリックする

［DVDムービーに対しては常に次の動作を行う］にチェックがついている状態で、手順 2 の操作をすると、次回以降はDVDをセットすると自動的に「TOSHIBA DVD PLAYER」が起動します。

（表示例）

「TOSHIBA DVD PLAYER」が起動します。
詳細は、「TOSHIBA DVD PLAYER」のヘルプを参照してください。

メモ

- 「TOSHIBA DVD PLAYER」が起動しなかった場合は、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA DVD PLAYER］→［TOSHIBA DVD PLAYER］をクリックしてください。
- リモコンが付属しているモデルの場合、リモコンで「TOSHIBA DVD PLAYER」を操作することもできます。

参照 リモコンの操作について《パソコンで見るマニュアル（検索）：リモコン操作一覧》

ヘルプの起動方法

「TOSHIBA DVD PLAYER」についての詳細は、ヘルプを確認してください。
起動方法は次のとおりです。

1 映像ウィンドウ右上の ? ボタンをクリックする

「TOSHIBA DVD PLAYER」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、裏表紙を参照してください。

2 映像を編集してDVDに残す

デジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンで編集し、DVDに残すことができます。

1 DVDを作成する準備

映像を編集してDVDに残すには、「DVD MovieWriter for TOSHIBA」を使います。

DVDを用意する

「DVD MovieWriter」がサポートしている記録メディアとフォーマットを参考に、書き込み可能なDVDメディアを用意してください。なお、推奨するメーカの記録メディアを使用してください。

参照 推奨するメーカ『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』

❑ フォーマット

フォーマットとは、映像を書き込むときの記録形式のことです。フォーマットによって、作成したDVDを再生できる機器が異なります。それぞれ次の特徴があります。

■DVD-Videoフォーマット

もっとも一般的なDVD形式です。ほとんどの家庭用DVDビデオレコーダやパソコンと再生互換があります。DVDメニューを作成することができます。

■-VRフォーマット

再編集可能なDVDを作成します。一部の家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでは再生できない場合があります。DVDメニューを作成することはできません。

■+VRフォーマット

再編集可能なDVDを作成します。DVD+VRに対応した家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでのみ再生できます。DVDメニューを作成することができます。

メモ

- DVDメニューとは、DVDをセットしたときに表示されるタイトル画面のことです。

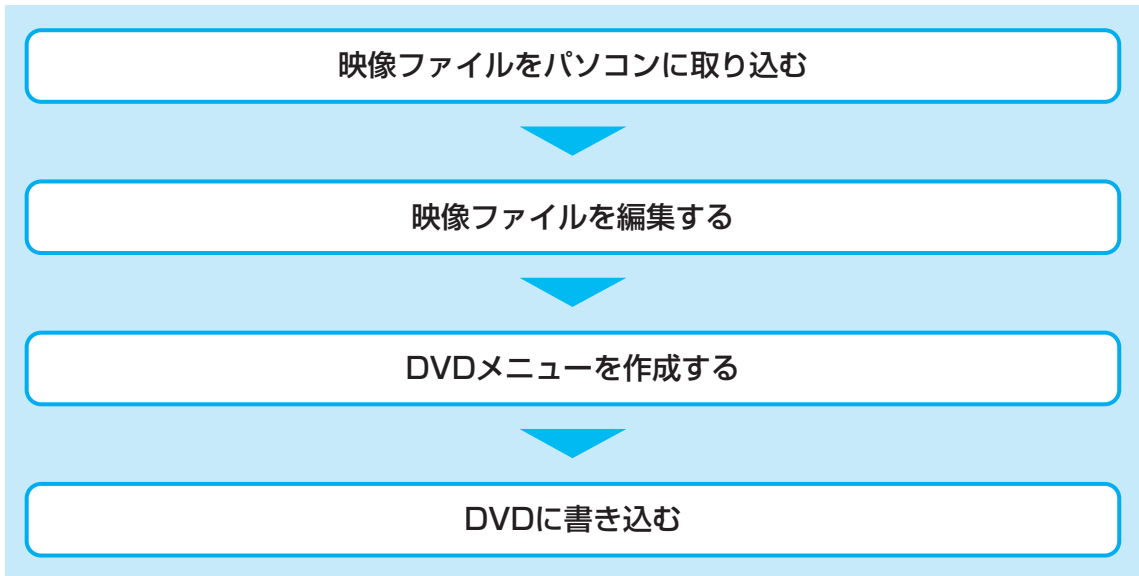
「DVD MovieWriter」がサポートしている記録メディアとフォーマットは、次のとおりです。

○：使用できる　×：使用できない

	DVD-R＊1	DVD-RW	DVD+R＊2	DVD+RW	DVD-RAM
DVD-Videoフォーマット	○	○	○	○	×
-VRフォーマット	×	○	×	×	○
+VRフォーマット	×	×	×	○	×

＊1　DVD-R DLを含みます。
＊2　DVD+R DLを含みます。

操作の流れ

操作は次の流れで行います。

メモ

- 映像を編集する前に、「9-3「DVD MovieWriter」の使用にあたって」をよくお読みください。
- 操作中にユーザ登録をおすすめする画面が表示される場合があります。この方法でユーザ登録を行うには、インターネットに接続できる環境とメールが受信できる環境が必要です。ユーザ登録を行う場合は、［今すぐ登録］ボタンをクリックし、画面の指示に従ってユーザ登録を行ってください。あとでユーザ登録を行う場合は、［後で登録］ボタンをクリックしてください。

ヘルプの起動方法

「DVD MovieWriter」についての詳細は、ヘルプを確認してください。メイン画面左下に起動するボタンがあります。

2 映像ファイルをDVDにする

ここでは、あらかじめファイルにしておいたビデオ映像などをDVDに書き込む方法を説明します。

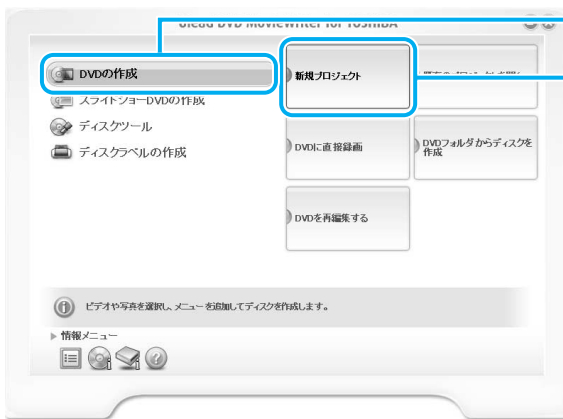
1 DVDにする映像ファイル（ビデオ映像のファイルなど）を用意する

あらかじめ映像ファイルを用意しておきます。
デジタルビデオカメラで撮影した映像を編集したい場合は、「本節 3 デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする」を参照してください。

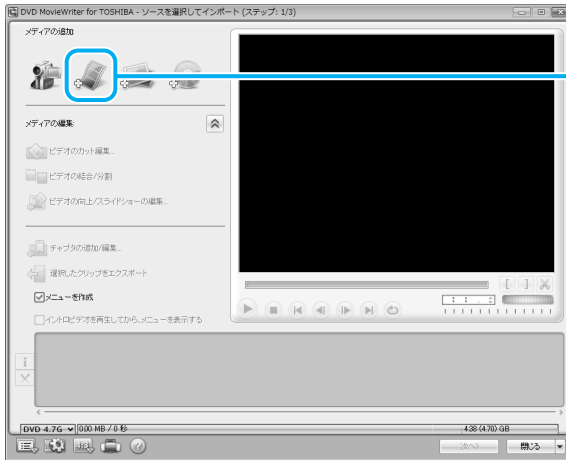
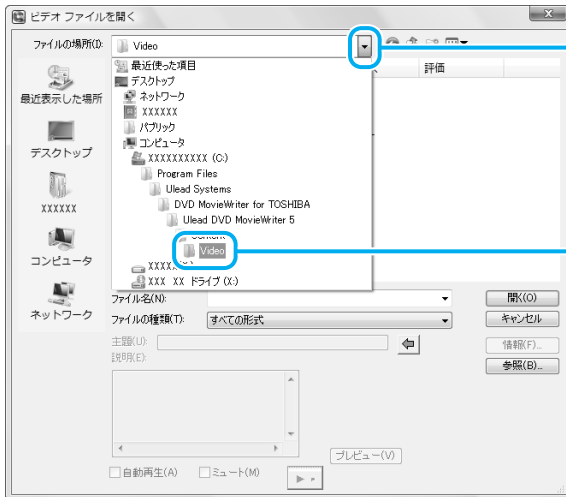
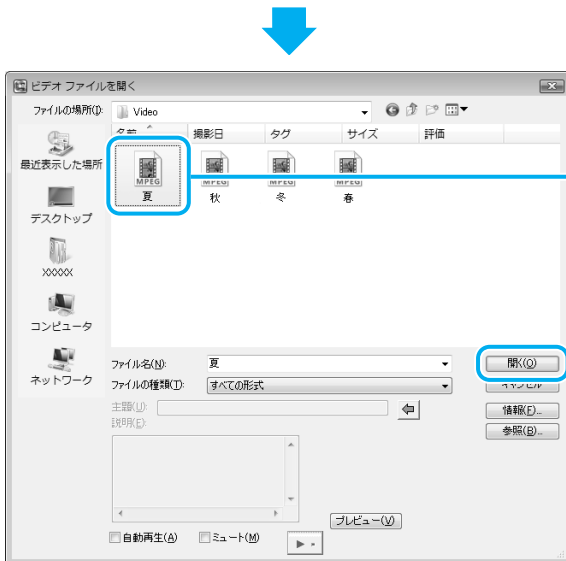
映像ファイルを取り込む

2 ［スタート］ボタン（）→［すべてのプログラム］→［DVD MovieWriter for TOSHIBA］→［Ulead DVD MovieWriter for TOSHIBA Launcher］をクリックする

「DVD MovieWriter」が起動します。

3 ［新規プロジェクト］を選択する

4 作成したいDVDのタイプを選択する

ここでは、もっとも一般的なDVD形式であるDVD-Videoフォーマットで作成できる［標準DVDを作成］を選択した場合を例にして説明します。

5 編集したい映像ファイルを選択する

複数のファイルを取り込む場合は、手順 5 を繰り返し行ってください。

6 映像ファイルが取り込まれる

［ソースを選択してインポート（ステップ：1/3)］画面に戻り、画面下部の「メディアリスト」に編集したい映像ファイルが追加されます。

「メディアリスト」に表示される映像ファイルの1つ1つが、DVDのメニューに表示されるタイトルになります。

メモ

● 映像用DVDは一部を除いて、タイトル、チャプタが設定されています。
DVD再生時に、各タイトルやチャプタから再生できます。

DVDのタイトルとチャプタの構造（例）

DVD（メディア）
　-タイトル1
　　-チャプタ1
　　-チャプタ2
　-タイトル2
　　-チャプタ1…

役立つ操作集

映像ファイルを取り込む

「メディアの追加」に用意されている各ボタンをクリックすると、映像ファイルを取り込むことができます。

[ビデオ装置からビデオをキャプチャ]
デジタルビデオカメラから映像を取り込みます。

[ビデオファイルを追加]
あらかじめ本製品に取り込んである映像ファイル（ビデオ映像のファイルなど）をメディアリストに追加します。
＊一部サポートしていないファイルもあります。

[スライドショーを作成]
複数の画像などをスライドショーに加工して取り込みます。

[ディスクやハードドライブからDVD-VideoまたはDVD-VRファイルをインポート]
「DVD MovieWriter」で作成したDVDから映像を取り込みます。
タイトルやチャプタを選択して、取り込むこともできます。

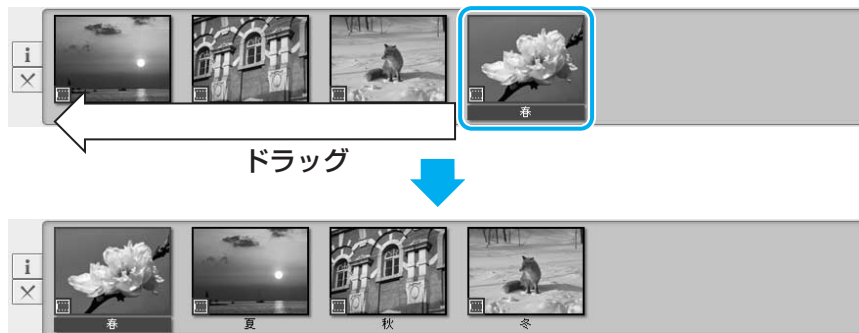
参照 デジタルビデオカメラから映像を取り込む方法
「本節 3 デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする」

次は、編集を行います。

映像ファイルを編集する

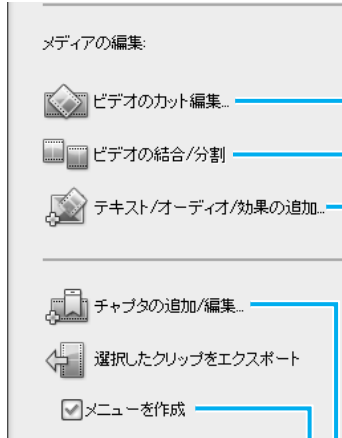
7 クリップを並べ替える

「メディアリスト」の映像ファイル（タイトル）が複数ある場合、左から順に再生されます。複数の映像ファイル（タイトル）を再生したい順に並べ替える場合の手順を説明します。

映像ファイル（タイトル）をドラッグアンドドロップして、再生したい順番に並べ替えます。

タイトルが並べ替えられました。

役立つ操作集

映像ファイルを加工する

取り込んだファイルの編集や加工には、「メディアの編集」のボタンを使用します。

次は、DVDのメニュー画面を作成します。

DVDメニューを作成する

8 DVDメニューを作成する

[メニューを選択（ステップ：2/3)] 画面が表示されます。

ここではあらかじめ用意されているDVDメニューを使います。

メモ

- DVDメニューの作成では、ここで説明している内容以外にも、次のような加工ができます。
  - ・音楽の追加
  - ・タイトルの追加
  - ・エフェクトの編集
  - ・DVDメニューの背景画像、文字入力やボタンの変更

  詳細については、「DVD MovieWriter」のヘルプを確認してください。

9 プレビュー画面で動作を確認する

DVDメニューの動作を確認することができます。

①［プレビュー］をクリック

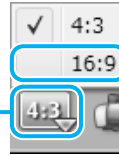
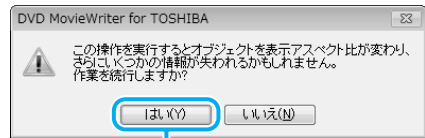
作成したDVDメニューを確認できる画面に切り替わります。

②リモコンのボタンをクリックし、動作を確認する

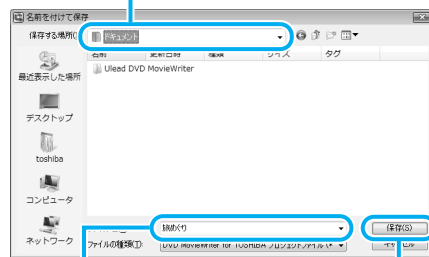
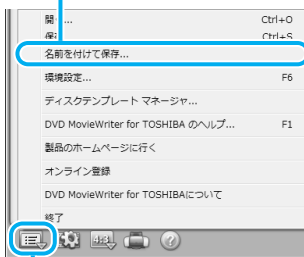
③クリックしてメニュー作成画面に戻る

役立つ操作集

画面サイズを切り替える

購入時は4:3の画面サイズ用に作成する設定になっていますが、ワイド画面（16:9）にも対応した設定に切り替えることができます。

確認画面が表示されます。

ワイド画面に対応した表示に切り替わります。

編集途中のデータを保存する

編集中のデータを保存して、あとでDVDへの書き込みを行うことができます。

保存したデータを「プロジェクトファイル」と呼びます。
データの編集を再開するときは次の手順でプロジェクトファイルを呼び出します。

① ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［DVD MovieWriter for TOSHIBA］→［Ulead DVD MovieWriter for TOSHIBA Launcher］をクリックする
② ［DVDの作成］→［既存のプロジェクトを開く］をクリックする
③ ファイルを選択し、［OK］ボタンをクリックする

これで、編集したい映像を1つにまとめ、DVDメニューを作ることができました。
次は、DVDに書き込みます。

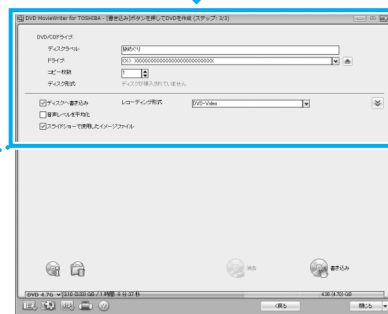
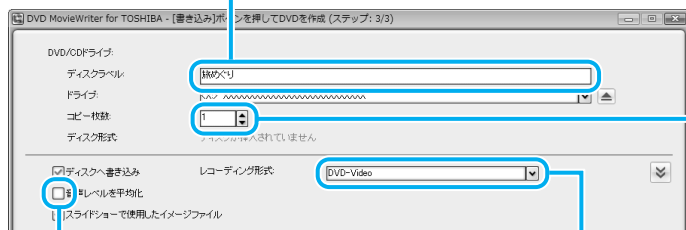
DVDに書き込む

10 書き込むディスクを設定する

② [次へ] をクリック

① [次へ] をクリック

[メニューを選択 (ステップ：2/3)] 画面が表示されている場合は、手順②へ進んでください。

[[書き込み] ボタンを押してDVDを作成 (ステップ：3/3)] 画面が表示されます。

③ 作成するDVDの名前を入力する

④ 作成するDVDの枚数を指定する

⑥ 必要に応じてチェックを付ける
音量の異なる複数の映像データを1つにまとめている場合、チェックを付けると全体を通してバランスのとれた音量に自動的に調整します。

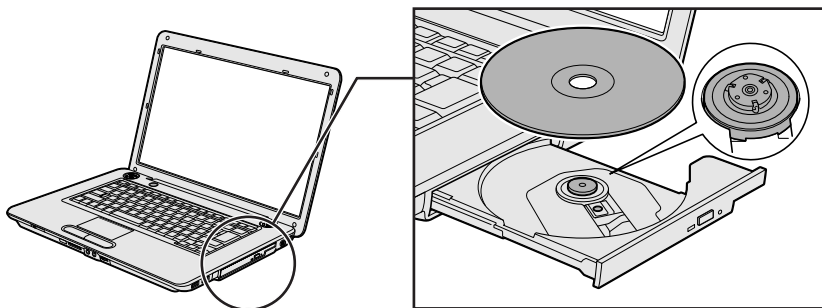
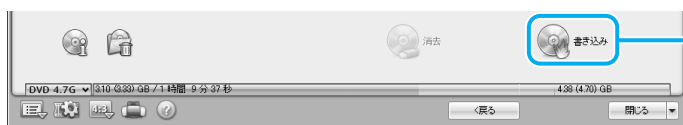
⑤ レコーディング形式（フォーマット）を選択する
記録メディアによってDVD-Video、DVD+VRから選択します。

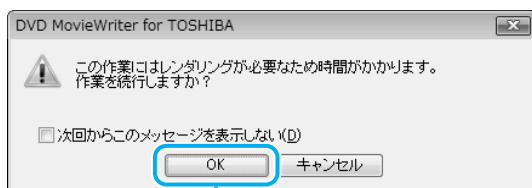
参照 レコーディング形式（フォーマット）「本節 1 - DVDを用意する」

メモ

- DVDまたはハードディスクに書き出す前に、「9 - 2 CD／DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて」をよくお読みください。

11 ドライブにDVDをセットする

＊イラストはTXシリーズです。

12 DVDに書き込む

①［書き込み］をクリック

確認のメッセージが表示されます。

②［OK］をクリック

メモ

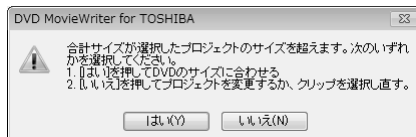
● 映像の書き込みには時間がかかる場合があります。

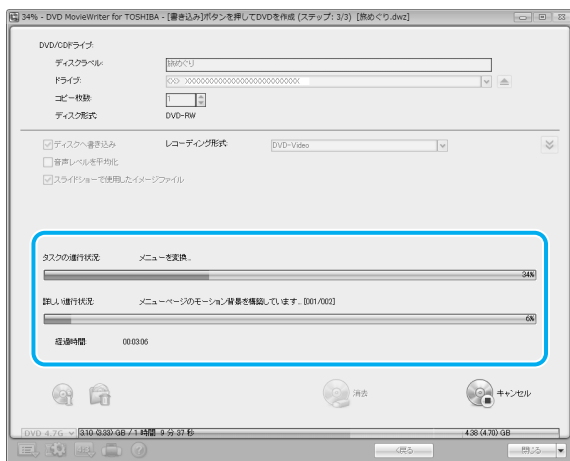
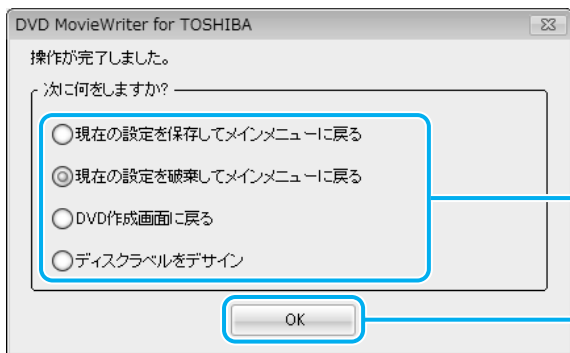
役立つ操作集

映像ファイルの長さを確認する

画面下部のメーターの色で、映像ファイルの長さを確認できます。緑色の部分は1枚のDVDに保存できますが、黄色や赤色の部分は、1枚のDVDの容量を超えています。映像ファイルを2枚のDVDにするか、いらない部分を削除してください。

また、メーターが超えている場合でも、映像の品質は落ちますが、長時間の映像ファイルを1枚のDVDに書き込むことが可能です（DVDピッタリ記録）。［書き込み］をクリックして、右のメッセージが表示されたときに［はい］をクリックしてください。

条件によりDVDに書き込めない場合もあります。書き込める条件の目安は、4.7GBのDVDの場合、DVD-EP（拡張再生）で録画した240分以下の映像ファイルです。

DVDの書き込みが始まります。

書き込みを開始すると画面に［タスクの進行状況］と［詳しい進行状況］が表示されます。

DVDの書き込みが終了すると、メッセージが表示されます。

DVDの書き込みが終了し、自動的にディスクトレイが開きます。

■③で［現在の設定を保存してメインメニューに戻る］を選択した場合

作成・編集したデータを保存していない場合は、［名前を付けて保存］画面が表示されます。保存場所とファイル名を指定して、［保存］をクリックしてください。
保存したデータを「プロジェクトファイル」と呼びます。プロジェクトファイルは、あとから呼び出して、再編集することができます。プロジェクトファイルの呼び出し方法は、手順 **9** の「役立つ操作集」を確認してください。

メモ

- 「DVD MovieWriter」のヘルプの起動方法は、「本節 1 DVDを作成する準備」を参照してください。

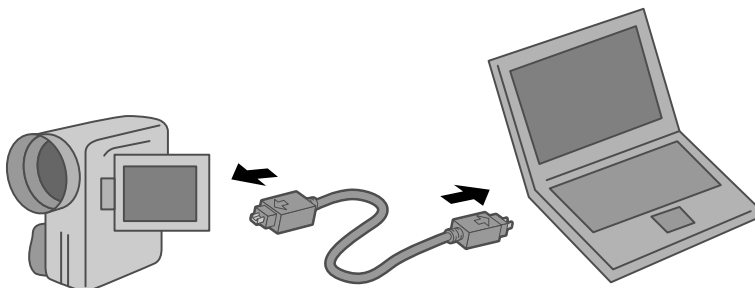
3 デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする

＊i.LINK（IEEE1394）コネクタによる接続は、TXシリーズ、TXWシリーズ、AXシリーズ、CXシリーズ、CXWシリーズのみ

デジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンに取り込むことができます。
ここでは、i.LINK（IEEE1394）対応のデジタルビデオカメラを、本製品のi.LINK（IEEE1394）コネクタに接続して、映像を取り込む方法について説明します。
お使いのデジタルビデオカメラがi.LINK（IEEE1394）接続に対応しているかどうかは、『デジタルビデオカメラに付属の説明書』を確認してください。
その他の方法で接続する場合は、デジタルビデオカメラと本製品の両方が対応している方法を確認して接続してください。

参照 本製品に用意されているコネクタ『いろいろな機能を使おう 1章 1 各部の名称』

参照 デジタルビデオカメラが対応している接続方法『デジタルビデオカメラに付属の説明書』

1 デジタルビデオカメラとパソコン本体のi.LINK（IEEE1394）コネクタをケーブルで接続し、電源を入れる

参照 i.LINK対応機器の接続《パソコンで見るマニュアル（検索）：i.LINK対応機器の接続》

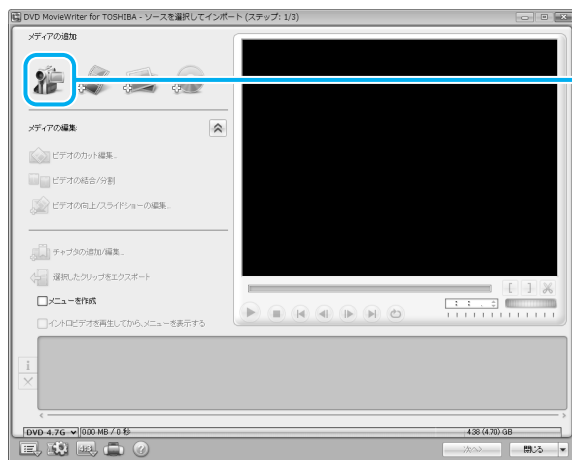
参照 デジタルビデオカメラの接続と電源の入れかた
『デジタルビデオカメラに付属の説明書』

2 ［DVDを作成 -Ulead MovieWriter 使用］をクリックする

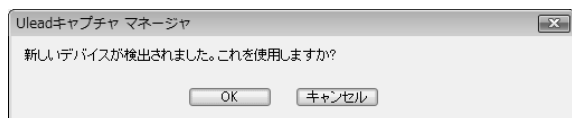
「DVD MovieWriter」が起動します。

■HDV規格対応ビデオカメラを接続した場合

HDV規格対応ビデオカメラをHDVの録画規格に設定して接続した場合は、［自動再生］画面は表示されません。

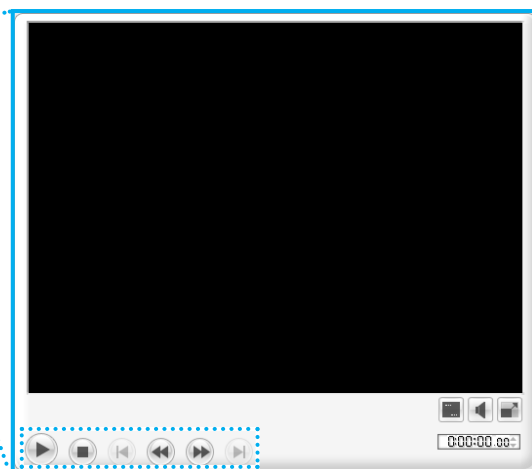
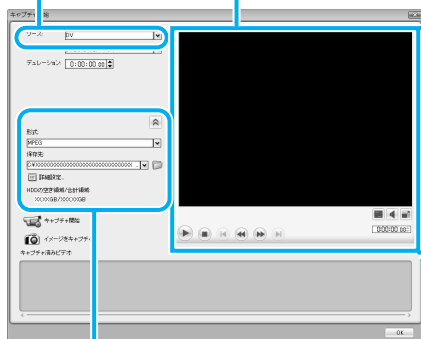
「本節 2 映像ファイルをDVDにする」の手順 2 から 4 と同じ操作を行ったあと、［ソースを選択してインポート（ステップ：1/3）］画面で、次のように入力装置を切り替えてください。

① ［ビデオ装置からビデオをキャプチャ］をクリック

■初めて接続した場合

「DVD MovieWriter」起動後に初めてデジタルビデオカメラを接続した場合、［Uleadキャプチャ マネージャ］画面が表示される場合があります。

［OK］をクリックしてください。

3 取り込む映像の設定をする

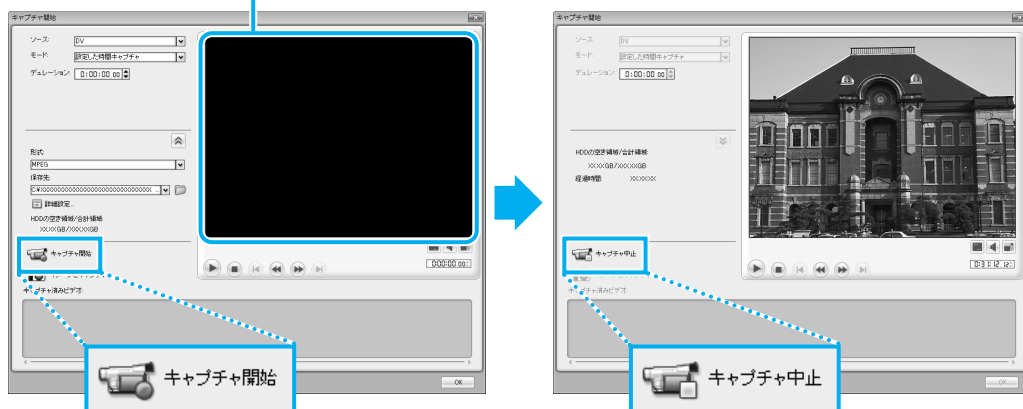
[ソース]
デジタルビデオカメラの場合は［DV］、HDV規格対応ビデオカメラの場合は［HDV］を選択してください。

[ナビゲーションコントロール]
映像の再生や停止、録画などを操作する画面です。

取り込む映像の録画品質と保存先を設定できます。
これらが表示されていない場合は、［高度なキャプチャ設定を表示/非表示］ボタン（ ）をクリックしてください。

［形式］で次の録画品質を設定できます。HDV規格対応ビデオカメラの場合は、「MPEG」のみ設定できます。

- DVD-HQ（品質高）720×480 7.2Mbps
- DVD-GQ（品質良）720×480 5.5Mbps
- DVD-SP（標準再生）352×480 3.6Mbps
- DVD-LP（長時間再生）352×480 2.4Mbps
- DVD-EP（拡張再生）352×480 1.6Mbps
- MPEG
- AVI

①録画開始位置を確認する
［再生（一時停止）］、［停止］、［早送り］、［先送り］の各ボタンを操作してデジタルビデオカメラの映像を［ナビゲーションコントロール］に表示することができます。
録画を始めるところまで再生したら、［停止］または［一時停止］ボタンをクリックしてください。

4 映像を取り込む

「キャプチャ済みビデオ」に映像ファイルが表示され、映像が取り込まれました。

複数のテープから映像を取り込みたい場合は、デジタルビデオカメラのテープを入れ替えて手順 3 〜 4 を繰り返してください。

5 デジタルビデオカメラの電源を切り、パソコンと接続しているケーブルを取りはずす

6 [OK] をクリックする

［ソースを選択してインポート（ステップ：1/3)］画面に切り替わります。
以降の操作は、「本節 2 映像ファイルをDVDにする」の手順 7 に進んでください。

メモ

●「DVD MovieWriter」のヘルプの起動方法は、「本節 1 DVDを作成する準備」を参照してください。

「DVD MovieWriter for TOSHIBA」のお問い合わせ先

コーレル株式会社 インタービデオ テクニカルサポート

お問い合わせの前にホームページ（http://www.corel.jp/support/）をご確認ください。
当製品の無償サポート期間は、ご購入後1年間となります。

受付時間　：月～金　10:00～12:00、13:30～17:30
（12:00～13:30、土日祝祭日、ならびに弊社指定休業日を除く）
TEL　：045-226-3899
FAX　：045-226-3895
E-mail　：メールでのお問い合わせは、以下のURLに掲載されている専用のメールフォームをご利用ください。
http://www.corel.jp/support/
ホームページ：http://www.corel.jp/

3 音楽を聴く

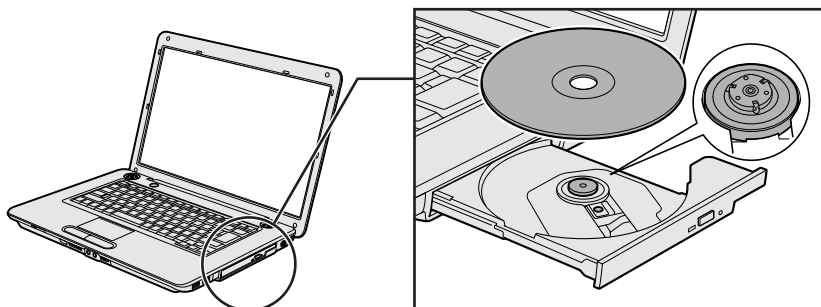
本製品で音楽CDを聴くためには、「Windows（ウィンドウズ） Media（メディア） Player（プレーヤ）」を使います。

「Windows Media Player」では、音楽CDを聴いたり、音楽ファイルを作ったり、好きな音楽ファイルをまとめて1つのリストを作ることもできます。
ここでは、「Windows Media Player」の基本的な使いかたを説明します。

1 音楽CDを聴く

ここでは、「Windows Media Player」で音楽CDを聴く方法を説明します。
ドライブに音楽CDをセットするだけで、「Windows Media Player」を起動することができます。

1 ドライブに音楽CDをセットする

＊イラストはTXシリーズです。

2 ［オーディオCDの再生 - Windows Media Player使用］をクリックする

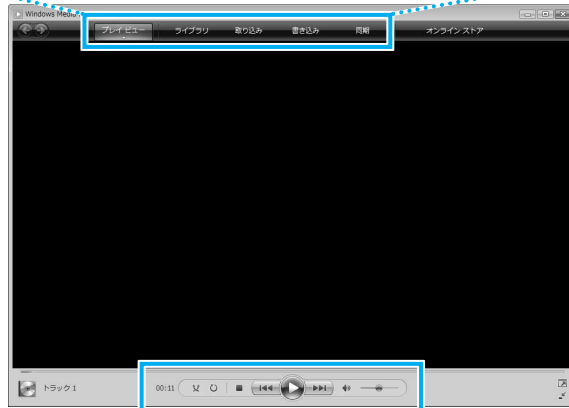
［オーディオCDに対しては常に次の動作を行う］にチェックがついている状態で、［オーディオCDの再生-Windows Media Player使用］をクリックすると、次回以降は音楽CDをセットすると自動的に「Windows Media Player」が起動します。

（表示例）

初めて起動したときは、［Windows Media Player 11 for Windows Vistaへようこそ］画面が表示されます。表示された画面の指示に従って操作してください。

3 音楽を聴く

自動的にCDの1曲目から再生されます。
画面に用意されている各ボタンで操作してください。

操作画面

詳細についてはヘルプを参照してください。
［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［Windows Media Player］をクリックして起動し、各メニューで［▼］をクリックし、［XXXXについてのヘルプ］をクリックすると表示されます。

メモ

- 「Windows Media Player」が起動しなかったときは、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［Windows Media Player］をクリックしてください。
- リモコンが付属しているモデルの場合、リモコンで「Windows Media Player」を操作することもできます。

参照 リモコンの操作について《パソコンで見るマニュアル（検索）：リモコン操作一覧》

- 音楽ファイルを好きな順番に並べてまとめ、自分だけの演奏リストを作成できます。これを「再生リスト」と呼びます。

参照 再生リストについて《パソコンで見るマニュアル（検索）：再生する順番を決める》

- 「CD/DVD静音ユーティリティ」を使って、音楽CDを聴くときに、ドライブの動作音を小さくすることができます。

参照 CD/DVD静音ユーティリティについて
《パソコンで見るマニュアル（検索）：ドライブの動作音を小さくする》

「Windows Media Player」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、裏表紙を参照してください。

4 オリジナル音楽CDを作る

オリジナルの音楽CDを作るには、「TOSHIBA Disc Creator」を使います。パソコンに音楽CDから曲を取り込んで、好きな曲を1つのCDにまとめることができます。

オリジナル音楽CDを作るには、CD-RW、CD-Rを使います。推奨するメーカのCDを用意してください。

参照 推奨するメーカ『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』

作成したCD-RWは、再生機器によっては、再生できないことがあります。

メモ

- 音楽CDを作る前に、「9-2 CD／DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて」、「9-4 「TOSHIBA Disc Creator」を使うために」をよくお読みください。

1 オリジナル音楽CDを作る

操作の流れ

操作は次の流れで行います。

音楽CDから曲（音楽ファイル）をパソコンに取り込む

↓

音楽ファイルの曲順を入れ替える

↓

CDに書き込む

本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

参照 「はじめに 6 著作権について」

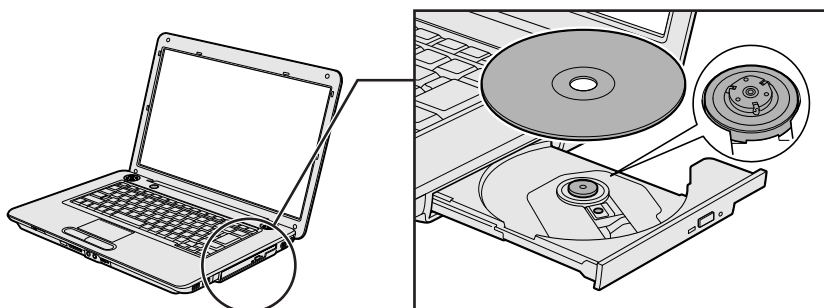
音楽ファイルを取り込む

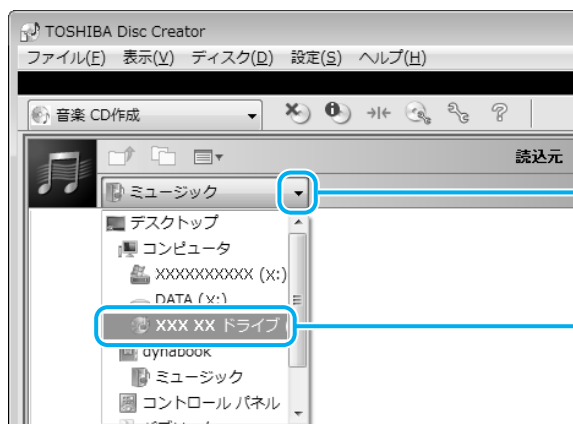
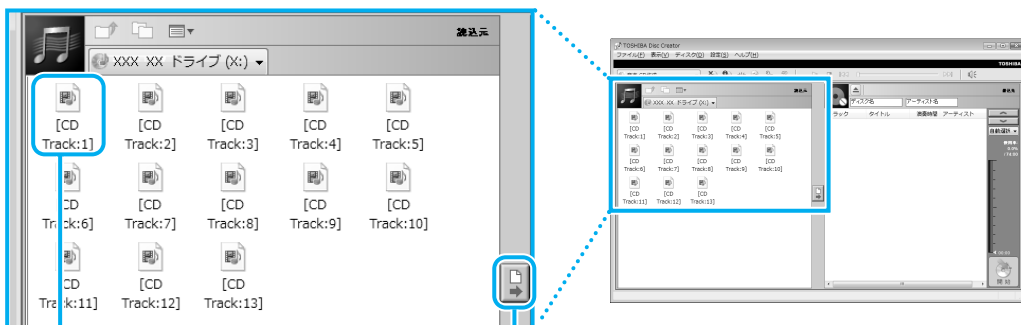
1 ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［CD&DVDアプリケーション］→［Disc Creator］をクリックする

2 ［音楽CD作成］をクリックする

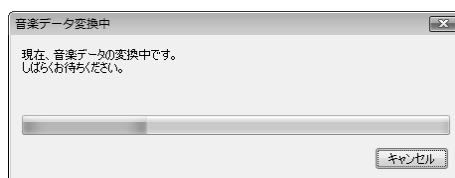
手順 2 のあと、音楽CDの情報をインターネットから取得するための「Windows Media Player」の設定に関する画面が表示される場合があります。必要に応じて「Windows Media Player」の設定を行ってください。設定方法については、「Windows Media Player」のヘルプを参照してください。

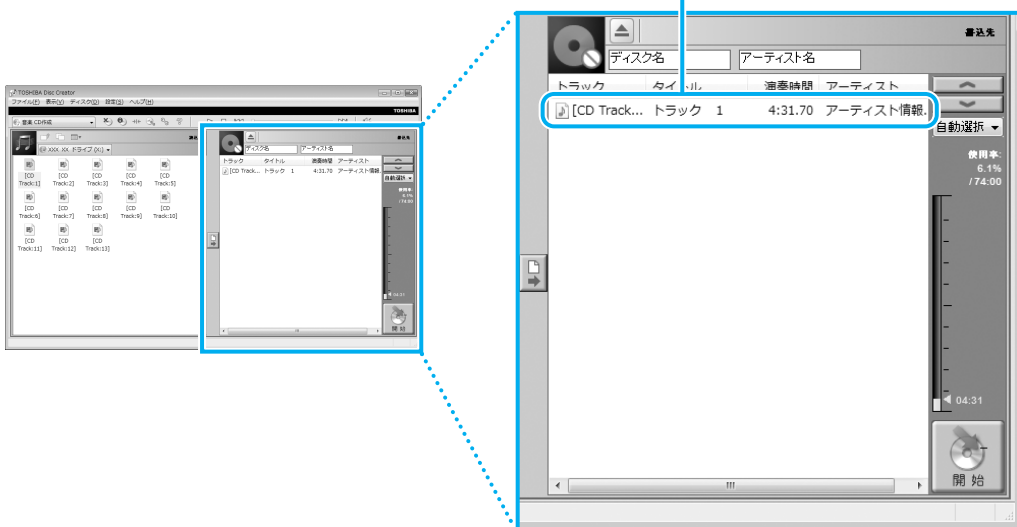
3 ドライブに音楽CDをセットする

＊イラストはTXシリーズです。

［自動再生］画面が表示された場合は［閉じる］ボタン（ ）をクリックしてください。

4 ドライブを選択する

5 書き込みたい曲（トラック）を選択する

①書き込みたい曲をクリック

曲は、「Track」と表示されます。
曲を複数選択したい場合は、
CTRL キーを押したまま目的の
曲をクリックしてください。

②［書き込み先にデータを追加する］をクリック

選択した曲を、いったんパソコンのハードディスクに取り込みます。取り込みの進捗状態が表示されます。

書き込む曲の一覧

6 音楽CDを入れ替え、手順 5 を繰り返す

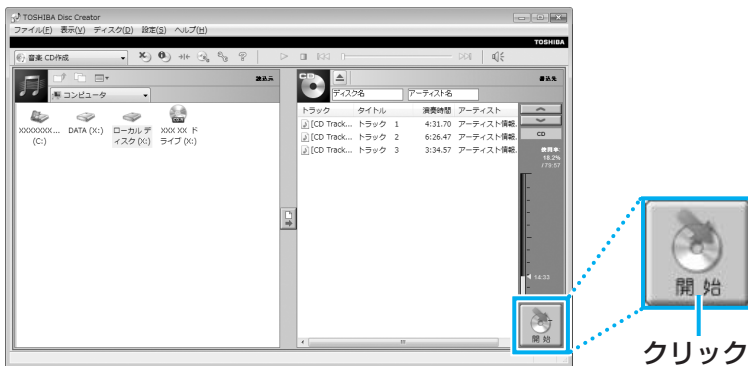
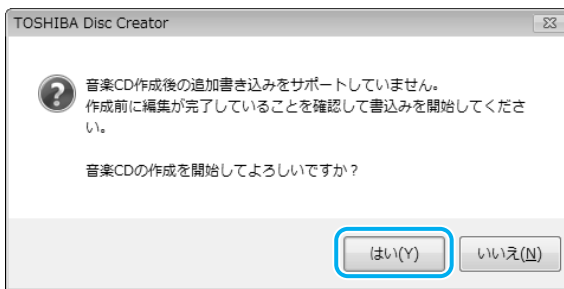
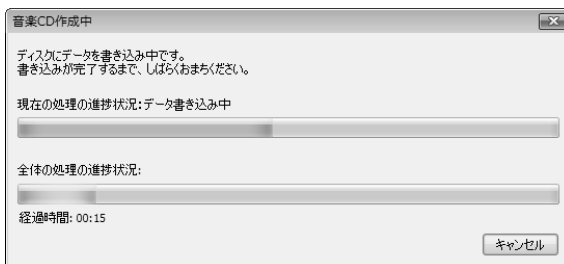
ほかの音楽CDからも曲を取り込みたい場合に行ってください。

メモ

- 曲順を入れ替えたい場合には、トラックを選択して移動したい位置へドラッグアンドドロップします。

CDに書き込む

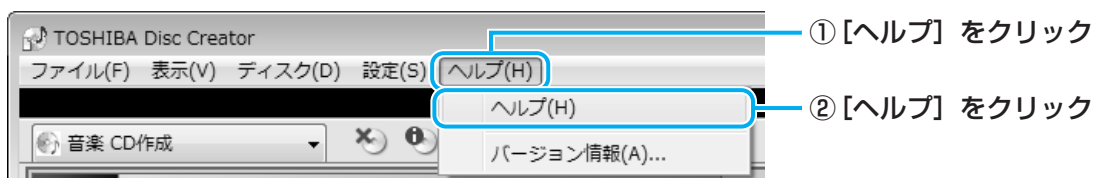
7 ドライブから音楽CDを取り出し、未使用のCD-R、CD-RWまたは消去してよいCD-RWをセットする

8 ［開始］ボタンをクリックする

9 メッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックする

書き込み中は、次の画面が表示されます。

CDの書き込みが終了すると、自動的にディスクトレイが開きます。

10 ［いいえ］ボタンをクリックする

さらに同じ内容のCDを作りたい場合は、未使用のCDと入れ替えて、［はい］ボタンをクリックしてください。

ヘルプの起動方法

「TOSHIBA Disc Creator」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

「TOSHIBA Disc Creator」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、裏表紙を参照してください。

5 デジタルカメラの写真を見る

デジタルカメラで撮った写真などの画像を閲覧するには、「Windows フォト ギャラリー」を使用します。スライドショー形式で見ることができたり、画像に情報を加えて管理しやすくすることもできます。

1 写真を見る

ここでは、デジタルカメラで撮った写真など、フォト ギャラリーで管理されている画像を見る場合の手順について説明します。

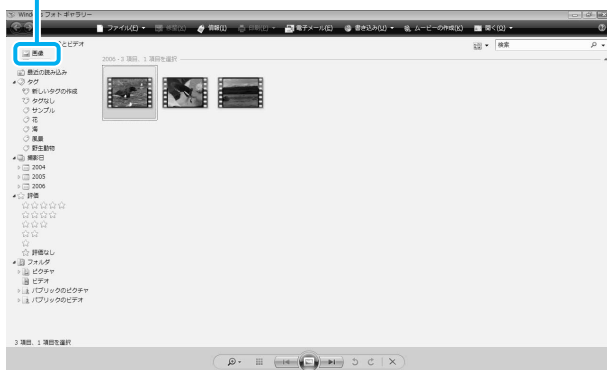
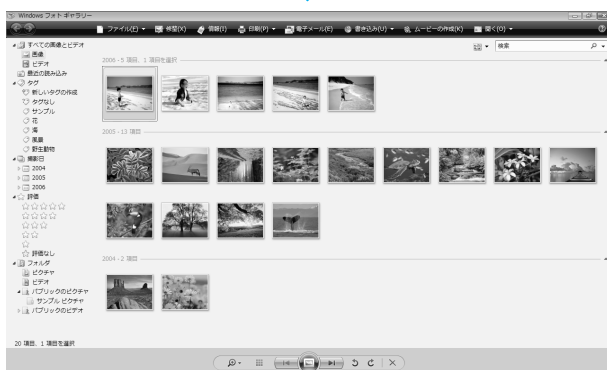
1 ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［Windows フォト ギャラリー］をクリックする

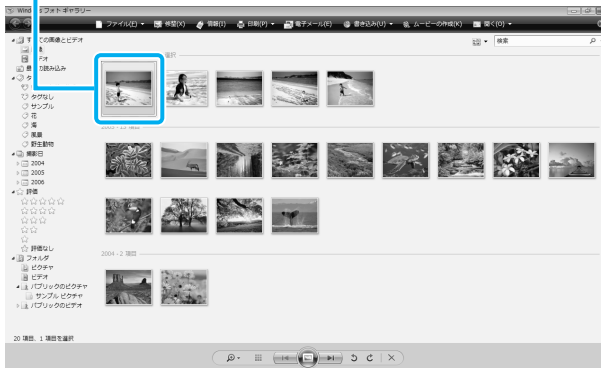
「Windows フォト ギャラリー」が起動します。

フォト ギャラリーでは、すべての画像やビデオを一覧できるほか、フォルダ、撮影日、評価、タグごとなどに分けて管理することができます。

2 画像が管理されているカテゴリを選択する

ここでは、［ピクチャ］フォルダに保存されているすべての画像が一覧表示できる［画像］を選択します。

① **［画像］をクリックする**

画像が表示されます。

3 目的の画像を拡大表示する

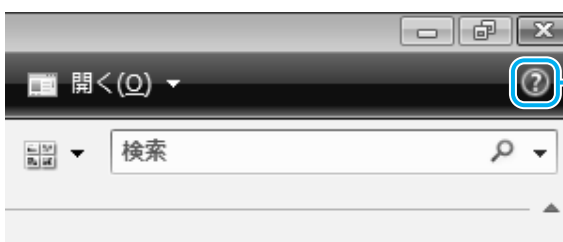
①目的の画像をダブルクリックする

拡大表示画面に切り替わります。

続けて次の画像を拡大表示したい場合は、画面下部の［進む］ボタン（▶|）をクリックしてください。

メモ

- 画像の表示や検索の他にも、画像の色や明るさなどを調整したり、トリミングすることができます。詳細はヘルプを確認してください。

ヘルプの起動方法

「Windows フォトギャラリー」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

①［ヘルプ］ボタンをクリックする

2 写真のデータをCD／DVDにコピーする

本製品に用意されている「TOSHIBA Disc Creator」を使用して、デジタルカメラで撮った写真のデータをCD／DVDにコピーすることができます。

参照 データをCD／DVDにコピーする
『準備しよう 4章 2 - 3 CD／DVDにデータのバックアップをとる』

「Windows フォト ギャラリー」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、裏表紙を参照してください。

6 Windows Media Centerで映像や音楽を楽しむ

＊Premiumモデルのみ

「Windows(ウィンドウズ) Media(メディア) Center(センター)」は、音楽を聴いたり、写真や映像を見たり、オンデマンドでゲームをしたりというような、さまざまなエンターテイメント機能の入り口を1つにまとめた機能です。

1 Windows Media Centerについて

メモ

● 「Windows Media Center」を使用する前に、「9-5「Windows Media Center」の使用にあたって」をよくお読みください。

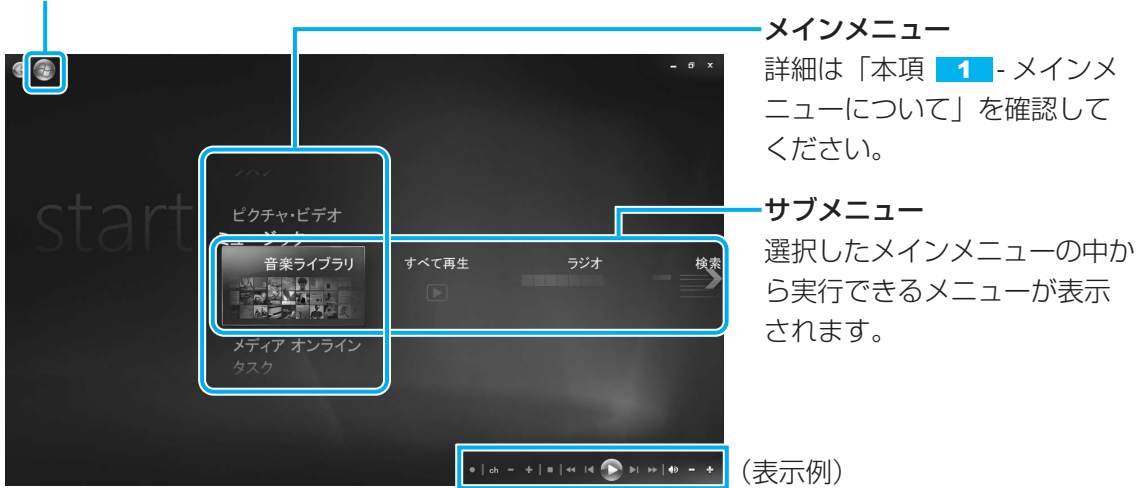
1 起動方法

1 [スタート] ボタン（ ）→ [すべてのプログラム] → [Windows Media Center] をクリックする

「Windows Media Center」が起動します。

初めて起動したときは、[ようこそ] 画面が表示されます。画面の指示に従ってセットアップを行ってください。なお、あとからセットアップを行うこともできます。
セットアップが終了すると、「Windows Media Center」のメインメニューが表示されます。

Windows Media Centerの画面について

画面上部のボタンやトランスポート コントロールは、画面にポインタを合わせると表示されます。

（表示例）

トランスポート コントロール

再生／一時停止、停止、前の項目に戻る、次の項目に進む、音量調整などが操作できます。

メインメニューについて

メインメニューの項目は次のとおりです。

ピクチャ・ビデオ	フォルダに保存してある写真やデジタルビデオなどから取り込んだ映像を見ることができます。
ミュージック	音楽CDを聴いたり、音楽ファイルを再生することができます。
メディア オンライン	「メディア オンライン」という専用サイトに用意されているプログラム（音楽・映画・ゲームなど）を利用することができます。
タスク	パソコンのシャットダウンやCD／DVDへの書き込みを行ったり、「Windows Media Center」の各種設定を行うことができます。

＊本製品では、「Windows Media Center」のテレビ機能はお使いになれません。

メインメニューで目的の項目をクリックすると、サブメニューに実行できる項目が表示されます。表示された項目の中からさらに目的の項目をクリックしてください。
各項目の画面が表示されます。

メモ

- リモコンが付属しているモデルの場合、リモコンで「Windows Media Center」を操作することもできます。

  参照 リモコンの操作について《パソコンで見るマニュアル（検索）：リモコン操作一覧》

ヘルプの起動方法

「Windows Media Center」についての詳細は、『Windowsヘルプとサポート』を確認してください。

起動方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］ボタン（）→［ヘルプとサポート］をクリックする

2 知りたいことを検索する

①知りたい内容を入力する
ここでは例として「Windows Media Center」と入力します。

②［ヘルプの検索］をクリック

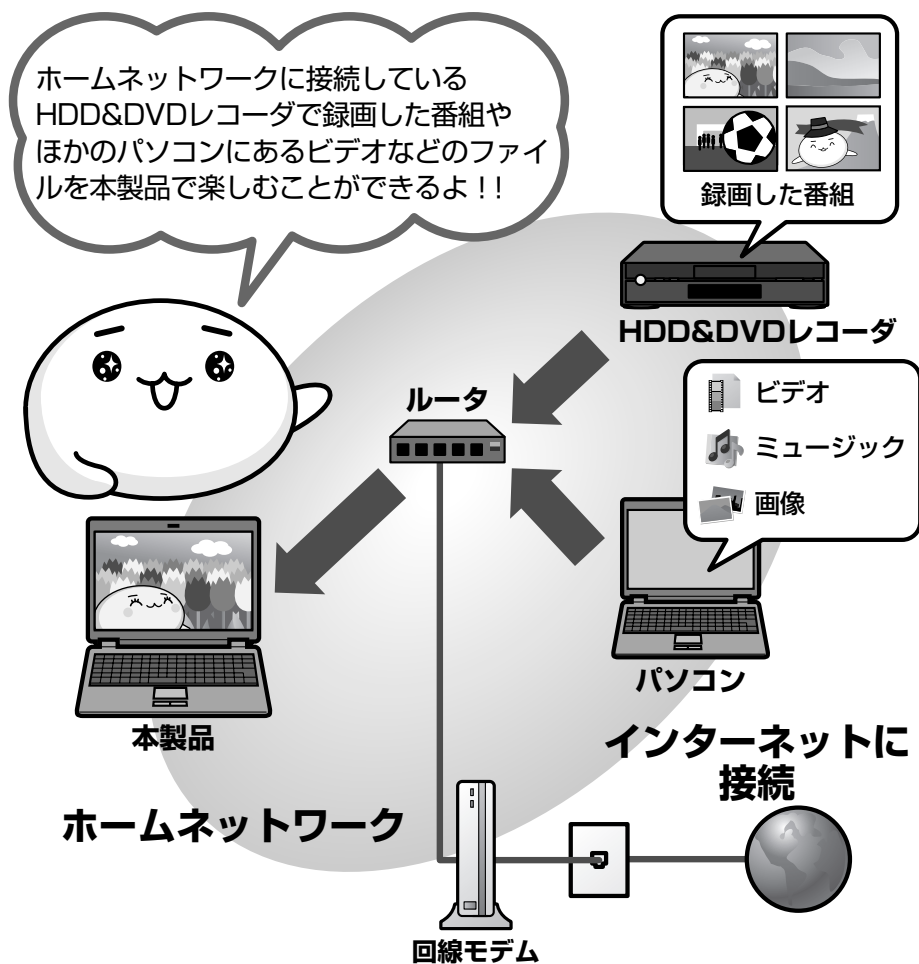
「Windows Media Center」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、裏表紙を参照してください。

7 ホームネットワークを楽しむ

＊TXシリーズのみ

「CyberLink SoftDMA for TOSHIBA」（SoftDMA）を使うと、ホームネットワークに接続しているHDD&DVDレコーダや本製品以外のパソコンなどから、それぞれ録画・保存している映像・音楽・画像などのコンテンツを受信して、本製品で楽しむことができます。
ホームネットワークに接続しているHDD&DVDレコーダなどがDTCP-IPに対応している場合は、HDD&DVDレコーダに保存されているデジタル放送の録画コンテンツを、「SoftDMA」を使って本製品で楽しむことができます。

（表示例）

詳細については、《パソコンで見るマニュアル（検索）：ホームネットワークを楽しもう》を参照してください。

メモ

- 「ホームネットワーク」とは、ルータなどを使い、家庭内でLAN（Local Area Network）機能のある機器を接続したネットワークのことです。
  ホームネットワークにパソコンやHDD&DVDレコーダ、テレビを接続すると、接続した機器に保存されている映像・画像・音楽コンテンツを楽しむことができます。
- リモコンが付属しているモデルの場合、リモコンで「SoftDMA」を操作することもできます。

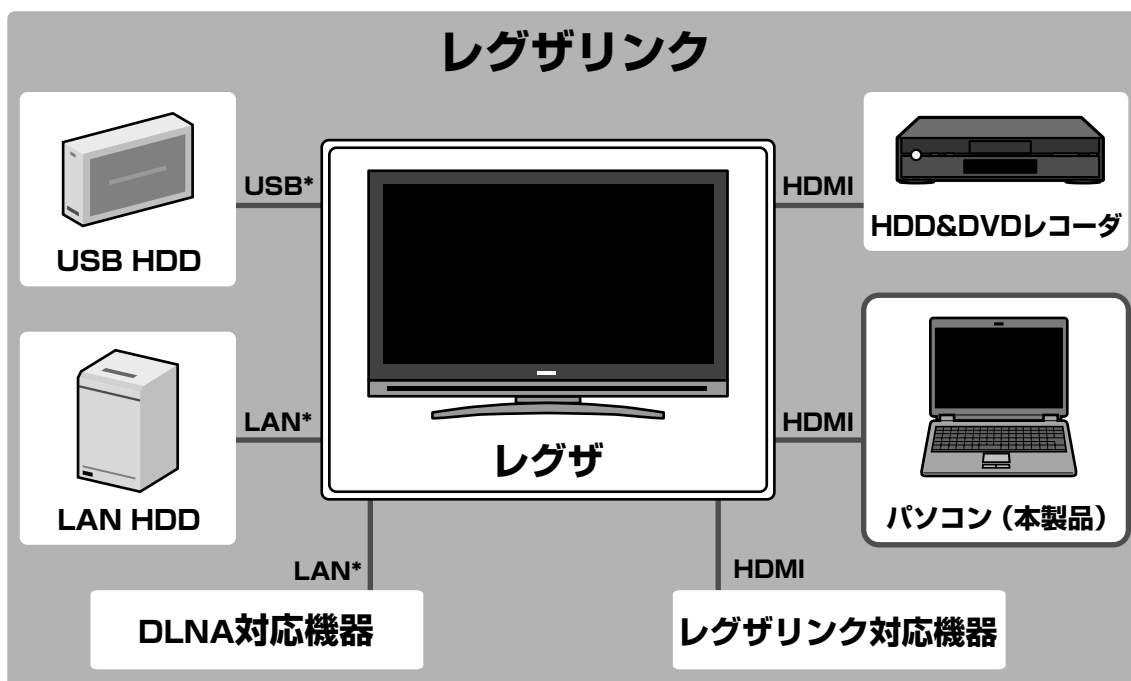
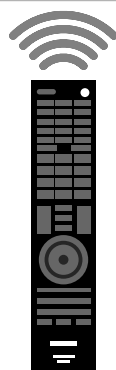
参照 リモコンの操作について《パソコンで見るマニュアル（検索）：リモコン操作一覧》

8 レグザリンクを使う —HDMI 連動—

＊HDMI 端子モデルのみ

1 レグザリンクとは

レグザリンクを使うと、東芝製液晶テレビ「レグザ＊1」に接続している外部機器を、レグザに付属のリモコンで操作することができます。

＊1 レグザリンクに対応しているレグザのみ

*各機器に対応しているレグザのみ

レグザリモコンから
レグザリンクで接続している
機器を操作

メモ

- レグザリンクについては、『レグザに付属の取扱説明書』と「9-6 レグザリンクについて」をよくお読みください。
- レグザリンクに対応している機種の最新情報は、次のホームページでも確認することができます。
  URL：http://www.toshiba.co.jp/digital/regzalink/

本製品で使用できる機能について

レグザが対応している外部機器との接続方法は、HDMI、ネットワーク（LAN)、USBの3種類あります。

参照 対応している外部機器『レグザに付属の取扱説明書』

本製品では、HDMIケーブルを使った接続によるレグザリンク（HDMI連動）により、次のアプリケーションをレグザに付属のリモコンで操作して、映像を再生することができます。

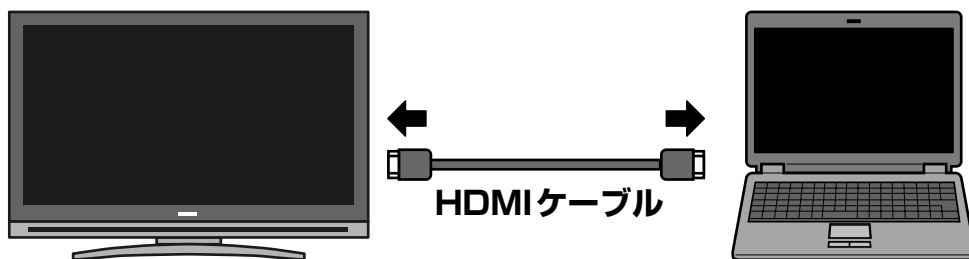
- TOSHIBA DVD PLAYER
- Windows Media Center

各アプリケーションの操作方法については、本書の説明や各ヘルプを参照してください。

レグザのリモコンの操作方法については、『レグザに付属の取扱説明書』を参照してください。
ここでは、レグザリンクを使った操作方法を紹介します。

2 レグザリンクの操作方法

レグザリンクを使うには、次のようにパソコン本体とレグザを設定してください。

①パソコン本体とレグザリンクに対応したレグザをHDMI ケーブルで接続する

参照 HDMIケーブルでの接続方法について
『レグザに付属の取扱説明書』
『いろいろな機能を使おう
（TXシリーズ、TXWシリーズ、AXシリーズ、CXシリーズ、CXWシリーズ）
3章 4 パソコンの画面をテレビに映す』

②接続したレグザの主電源を入れる

接続したレグザの主電源を切っていると、レグザリンクが使えません。
必ず、レグザの主電源を入れてください。

③パソコン本体の電源を入れる

④デスクトップ上の［HDMI出力］アイコン（ HDMI出力 ）をダブルクリックする

レグザの電源がオンになり、パソコンのデスクトップ画面がテレビに表示されます。

すでに「TOSHIBA Flash Cards」などで表示装置を「HDMI」に設定している場合は、手順④の操作を行うと、本体液晶ディスプレイにだけ表示する設定に戻ります。再度、デスクトップ上の［HDMI出力］アイコン（ HDMI出力 ）をダブルクリックするか、FN＋F5 キーを押して、表示装置を切り替えてください。

9 ご使用にあたってのお願い

本書で説明している機能をご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。

1 DVDの再生にあたって

本項では、「DVD」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、DVD-VideoフォーマットまたはDVD-VRフォーマットで記録されたディスクを示します。

- 使用するDVDディスクのタイトルによっては、コマ落ちする場合があります。
- 家庭用DVDレコーダで録画した、ファイナライズされていないDVDはパソコンで再生できない場合があります。
- DVDの再生には、「TOSHIBA DVD PLAYER」を使用してください。
「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用してDVDを再生すると、表示が乱れたり、再生できないことがあります。このようなときは、「TOSHIBA DVD PLAYER」を起動し、DVDを再生してください。
- DVD再生ソフト「TOSHIBA DVD PLAYER」では、DVD-VideoとDVD-VRの再生ができます。Video CD、Audio CD、MP3の再生はサポートしていません。
- DVD再生時は、なるべくACアダプタを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができないことがあります。バッテリ駆動で再生するときは電源プランで「高パフォーマンス」を選択してください。
- DVDを再生する前に、ほかのアプリケーションを終了させてください。また、再生中にはほかのアプリケーションを起動させたり、不要な操作は行わないでください。
- 「TOSHIBA DVD PLAYER」の起動中は、スリープ、休止状態を実行しないでください。
- 「TOSHIBA DVD PLAYER」の起動中は、コンピュータのロック状態に移行する操作（[Windows]＋[L]キーまたは[FN]＋[F1]キーを押す）をしないでください。
- Region（リージョン）コードは4回まで変更することができますが、通常は出荷時のままご利用ください。
出荷時の状態では、Regionコードが「2」に設定されておりますので、Regionコードが「2」または「ALL」のDVD-Videoをご使用ください。
- 外部ディスプレイまたはテレビに表示するときは、再生する前にあらかじめ表示装置を切り替えてください。また、クローン表示設定でDVDを再生することはできません。

参照 表示装置の切替え『いろいろな機能を使おう 3章 周辺機器を使って機能を広げよう』

- 拡張表示（Extended Desktop）でDVDを再生した場合、外部ディスプレイ側のDVD再生画像が表示されないことがあります。その際はいったん再生を終了し、外部ディスプレイ側の解像度、リフレッシュレートや色数を下げてご使用ください。

その他の注意については、「TOSHIBA DVD PLAYER」のヘルプに記載しています。
「TOSHIBA DVD PLAYER」のヘルプの起動は、［スタート］ボタン（　）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA DVD PLAYER］→［TOSHIBA DVD PLAYER ヘルプ］をクリックしてください。

2 CD／DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて

CD／DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しを行うときは、次の注意をよく読んでから使用してください。守らずに使用すると、書き込み／書き出しに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、記録メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込み／書き出しに失敗することがあります。

■CD／DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しを行うにあたって

- バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続してご使用ください。
- 書き込みを行うときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、電源オフ／スリープ／休止状態／再起動を実行しないでください。

参照 省電力の設定について《パソコンで見るマニュアル（検索）：省電力の設定をする》

- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
  - ・音楽CD／DVDの再生アプリケーション
  - ・スクリーンセーバ
  - ・ウイルスチェックソフト
  - ・ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
  - ・モデムなどの通信アプリケーション　など

  ソフトウェアによっては動作の不安定やデータの破損の原因となるので、使用しないことを推奨します。
- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作は行わないでください。
- 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
  USB対応機器、テレビ、外部ディスプレイ、i.LINK対応機器、SDメモリカード、SDHCメモリカード、メモリースティック、xD-ピクチャーカード™、マルチメディアカード、ExpressCard
- パソコン本体から、携帯電話およびほかの無線通信装置を離してください。
- SDメモリカード、SDHCメモリカード、USB接続などのハードディスクドライブなど、本製品の内蔵ハードディスク以外の記憶装置にあるデータを書き込むときは、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- LANを経由する場合は、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 重要なデータについては、書き込み終了後、必ずデータが正しく書き込まれたことを確認してください。
- CD／DVDに書き込みを行うときは、市販のライティングソフトウェアは、使用しないでください。
- CD／DVDに書き込むときには、それぞれの書き込み速度に対応し、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカの記録メディアを使用してください。

■作成したDVDについて

- 作成したDVDは、一部の家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでは再生できないこともあります。また、作成したDVD+R DLメディア、DVD-R DLメディアを再生するときは、それぞれの記録メディアの読み取りに対応している機器を使用してください。
- 作成したDVDを本製品で再生するときは、「TOSHIBA DVD PLAYER」を使用してください。「Windows Media Player」やその他の市販ソフトを使用して再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。

■映像データをDVDに書き込む前に

- DVDに書き込みを行うときには、それぞれの規格に準拠した記録メディアを使用してください。また、推奨するメーカの記録メディアを使用してください。なお、再生する機器に応じて、その機器の取扱説明書でも推奨される記録メディアを使用してください。守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、記録メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。
- 本製品に付属の「DVD MovieWriter」以外の映像データライティングソフトウェアは動作保証していません。

■「DVD MovieWriter」のムービー作成について

- ムービー作成では-VRフォーマット、+VRフォーマットでの書き込みはできません。
- DVD-AudioやVideo CD、miniDVDを作成することはできません。
- DVDへ書き込みを行うには、映像データのサイズの約2.5倍以上の空き容量がハードディスクに必要です。あらかじめハードディスクの空き容量を確認してください。使用する映像ファイルや編集のしかたによって、必要な空き容量が異なります。
- DVDに映像データを書き込む場合、映像データの大きさや編集のしかたによってはデータの変換に数時間かかることがあります。

3 「DVD MovieWriter」の使用にあたって

- 「DVD MovieWriter」はコンピュータの管理者アカウントで使用してください。
- 本製品にインストールされていない、その他の映像データを取り込むソフトウェアは使用しないでください。
- 「TOSHIBA DVD PLAYER」などの映像を再生するアプリケーションが動作していると、編集中のプレビューが正しく表示されないことがあります。編集中はほかのアプリケーションを終了してください。
- 編集中のプレビューは本体液晶ディスプレイにのみ表示されます。外部ディスプレイには表示されません。
- 著作権保護された映像が保存されているDVDの映像の編集は行えません。
- 著作権保護されているコンテンツは再生できません。
- 「DVD MovieWriter」の動作中は、画像の解像度・色数の変更は行わないでください。
- 「DVD MovieWriter」では、ソース（映像ファイル）のビットレートによっては、1枚に圧縮できない場合があります。
- [Ulead Label@Once]画面でのDVDラベルの作成は、必ずレーベル面に直接印刷できるプリンタと記録メディアをご利用ください。市販のラベルシールを貼付したDVDをご利用になると、ドライブの故障の原因になります。市販のラベルシールは使用しないでください。

4 「TOSHIBA Disc Creator」を使うために

使用できるメディアについては、『準備しよう 4章 大切なデータを失わないために』の「TOSHIBA Disc Creator」にあてはまる部分をご覧ください。

- 本製品に付属している「TOSHIBA Disc Creator」を使用してDVD-Video、DVD-VR、DVD-Audioを作成することはできません。
- 「TOSHIBA Disc Creator」を使用してDVD-RAMにデータを書き込むことはできません。

■データCD／DVDを作るにあたって

- 「TOSHIBA Disc Creator」で、重要なデータを書き込む場合は、次の設定を行ってください。正常に書き込まれていることを確認できます。
  ①**「TOSHIBA Disc Creator」を起動し、［データCD/DVD作成］をクリックする**
  ②**［ディスク作成モードの設定ダイアログ］ボタン（ ）をクリックする**
  ［データCD/DVD設定］画面が表示されます。
  ③**［データチェック］の［書き込み後にデータをチェックする］と［詳細チェック］をチェックする**
  ④**［OK］ボタンをクリックする**

5 「Windows Media Center」の使用にあたって

▼Premiumモデルのみ

- 「Windows Media Center」を起動する前に、ほかのアプリケーションを終了させてください。起動中にはほかのアプリケーションを起動させたり、不要な操作は行わないでください。

▲Premiumモデルのみ

6 レグザリンクについて

- レグザと本製品が正しく接続されているにも関わらず、レグザに付属のリモコンから本製品の操作ができない場合は、一度本製品を再起動し、HDMIケーブルをはずしてから、つなぎなおしてください。

レグザからパソコン本体の電源を操作するには

- レグザから操作して、本製品の電源を入れたり切ったりすることができます。

① **［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［ユーティリティ］→［HDMI連動設定］をクリックする**

［HDMI連動設定］画面が表示されます。

② **機能を有効にする場合は、［HDMI連動を有効にする］と［HDMI連動対応のテレビから本機の電源のオン、オフをできるようにする］をチェックする**

機能を使わない場合は、チェックをはずしてください。

③ **［OK］ボタンをクリックする**

パスワードの入力について

- パスワードの入力を求められた場合は、レグザからパスワードを入力することはできません。

参照 Windows ログオンパスワードについて
『Windows ヘルプとサポート』
《パソコンで見るマニュアル（検索）：Windows ログオンパスワード》

さくいん

D

T

W

エ

オ

シ

テ

レ

PRINTED WITH SOY INK™ この取扱説明書は植物性大豆油インキを使用しております。
この取扱説明書は再生紙を使用しております。

東芝PC総合情報サイト

http://dynabook.com/

東芝PCあんしんサポート

技術的なご質問、お問い合わせ、修理のご依頼をお受けいたします。

全国共通電話番号 **0120-97-1048**（通話料･電話サポート料無料）

おかけいただくと、アナウンスが流れます。
アナウンスに従ってご希望の窓口に該当する番号をプッシュしてください。

電話番号は、お間違えのないよう、ご確認の上おかけください。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。
ご相談の内容により、別のサポート窓口をご案内する場合がございます。
技術相談窓口受付時間：9：00～19：00（年中無休）
修理相談窓口受付時間：9：00～22：00（年末年始12/31～1/3を除く）

▼インターネットで修理のお申し込み
http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/i_repair.htm

お問い合わせの詳細につきましては、『東芝PCサポートのご案内』をご参照ください。

・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

株式会社 東芝 PC&ネットワーク社
PC第一事業部 〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

GX1C000P5110
Printed in China